

学科名	電気通信工学科、建築・デザイン学科、情報学科						
科目名	環境と生物						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	大貫宏一郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進化論における「突然変異」と「自然淘汰」の関係を説明できる</li> <li>・セントラルドグマの個々の段階を把握し、遺伝情報の流れを描ける</li> <li>・食べ物は体内でどのように我々の体に役立っているのか記述できる</li> <li>・環境によって生物がいかに影響されるかを説明できる (A9,C5,C7)</li> </ul>						
日程と内容	第1回：導入講義、授業の進め方と概要の説明、成績評価法など。 第2回：生命の起源 第3回：地球と生物の歴史 第4回：進化論 第5回：遺伝子とタンパク質 第6回：水と大気 第7回：温度環境への適応 第8回：免疫機能 第9回：バイオリズム 第10回：環境と食物 第11回：食物連鎖と生物濃縮 第12回：内分泌系と環境ホルモン 第13回：遺伝子組み換え生物 第14回：放射性物質 第15回：総合復習 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				100%
	演習						
授業到達目標の達成度	予定していた項目はすべて実施して、概ね達成できたと考えている。						
反省点	昨年度は理解度が二年連続で4.0と変わらなかったため、今年度はよりわかりやすい授業を目指し、その結果4.0→4.3と0.3ポイント上昇して満足しているが、平易であったためであるとも考えられる。高度な内容を維持しつつ、今後も少しずつ改善していきたいと考えている。						
来年度の計画	項目自体は同様として、内容の充実を図りたいと考えている。 基本的には、今年度同様の内容で実施することとして、動画を視聴させたり、分かりやすい教材を使ってより身近な内容にしたいと考えている。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合が8.5と昨年度より0.2ポイント上昇し、各項目について、4.3程度の項目が多くみられ、概ね満足している。また、自由記述でも、好意的な記述が多くみられ、内容を理解してもらい、興味を持ってもらえたことは、成功であったと感じた。来年度は、高度な内容をなるべく維持しつつ、分かりやすく満足度の高まる内容にして、今年度と同等以上のクオリティを保ちたいと考えている。						
履修登録者数	53名	定期試験 受験者数	45名	合格者数	42名	合格率	93%